

令和6年度 医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

当院では、医師の負担軽減及び処遇改善のため、以下の取り組みを実施しています。

1.医師と医療関係職種、医療関係職種事務職員などにおける役割分担

	取組事項	具体的な取組内容	目標達成年次
1	初診時の予診実施	病院受付において事務職員から患者・家族に問診票を渡し、患者記載後回収、その後、看護師が問診票をもとに詳細確認を行っている。	実施中
2	静脈採血等の実施	外来患者は看護師及び臨床検技師、入院患者は看護師が実施している。	実施中
3	入院説明の実施	入退院支援部門を設置し、多職が入院オリエンテーション実施。患者情報の収集、服薬状況の確認など、退院支援の早期介入を行っている。	実施中
4	薬剤管理	各病棟の担当薬剤師を配置し、病棟患者の服薬指導・入院患の持参薬の確認を行っている。	実施中
5	医師事務作業補助体制	医師事務作業補助者を配置し診断書等の文書作成、診察予約業務等、医師の事務的作業の負担軽減を行っている。	実施中
6	非常勤医師の採用	医師の負担軽減をおこなうため、宿日直等の依頼を非常勤医師に行っている。	実施中

2.医師の勤務体制等にかかる取組

	取組事項	具体的な取組内容	目標達成年次
1	勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	当直について、連続当直を行わないよう院内常勤医師の他に院外から非常勤医師を採用し、常勤医の負担軽減を行っている。	実施中
2	交替勤務制・複数主治医制の実施	医師の負担軽減を図るため、入院においては副主治医を付け、退院支援を行っている。	実施中

高良台リハビリテーション病院
院長 永田 剛